

校長室便り 夏休みまで1か月を切りました。

文責 校長



1学期の大きな行事の山は運動会でしたが、その後も各学年とも怒濤の行事ラッシュで、気付けばあと15日、登校すれば夏休みというところまで来てしまいました。4年生の鳳凰山登山（残念ながら雨で中止でしたが……）、5年生の宿泊体験活動、他学年の町探検など本当に様々、行事があるものだと感心しています。

29日（月）は、1年生が、有浦保育園とカトリック子ども園の年長さんと一緒に、有浦の森で「夏祭り」を行いました。梅雨の合間を縫っての夏祭りを存分に楽しみました。



いろみずコーナー



金魚すくい



シャボン玉コーナー

【夏休みに向けての準備をお願いします】



行事の感想として、「この経験を学校生活に生かす」という言葉をよく耳にします。そういきたいところですが、子どもたちの中に学びが自覚されていくのは、「今でしょ!」のようにはいかないのが現実です。と考えれば、夏休みに入ってから学習や生活について何をするかを考えていては、充実した夏休みのためのスタートダッシュはできません。できる限り早めにお子さんと夏休みの過ごし方について計画を進めておかれるとよいと思います。ということで、6月の校長だよりは、夏休みに向けてのお願いの第一弾になります。

【お願いその1 夏休みにはぜひ、親子読書に取り組んでみてください】



夏休みの課題として、親子読書のシートが渡ります。お子さんとお家の方が一緒に同じ本を読みます。子どもたちの読書離れを防ぐための取組ではありますが、それ以外にも親子読書のメリットはたくさんあります。その一つに、一緒に読むことで、コミュニケーションを深めてもらえると考えています。本を読みながら「主人公はどうしてこう考えたのかな?」など、一緒に考えながら読み進めることで、お子さんの考えを知り、お家の人の考えを伝えることができます。普段から読み聞かせを行っているご家庭はよいのですが、習慣のないご家庭にはちょっとご難儀をおかけします。でも、子どもたちは、1回の親子読書でもよい思い出として記憶してくれるものです。お金をかけない思い出づくりになりますよ。

もう一つは、お子さんの読解力を知ることができます。すらすら読めるか、意味が分かって読んでいるかなど、普段、確認できないことが分かります。音読することで頭に入っていく、とても効果があります。こうした効果を出すために、できれば夏休み前に本を購入するか借りておくなどして、お家の方が先に本の内容を理解しておく、親子読書の効果はより高まります。

【お願いその2 夏休みの生活のルールを確認を】



夏休みで一番危険なのは、水難事故です。毎年、1学期の終業式の日、水難事故で小中学生が亡くなる事故が後を絶ちません。因みに全国のここ10年の水難事故で、亡くなっている方で一番多い年齢は13歳だそうです。ほとんどの地域では子どもたちだけの川や海での遊びは禁止されているはずなのですが。

事故に遭う理由は様々ありますが、そのほとんどは、夏休みの開放感や友だちといることで気持ちが大きくなり、遊泳禁止区域など普段は行かないようなところで泳ぎ、亡くなるケースです。「遊泳禁止区域」となっているのは、「泳ぐのに適していない、危険な場所」という意味です。その意味を自分で理解し、守るべきルールを守らないと、あっという間に命を落とすことになるのです。

水難事故だけでなく、夏休みは様々な生徒指導事案も発生しますが、最近の傾向として、動画や大人のまねをした行為が原因で、問題になるケースが多く見られるようになってきました。本人たちは、大人や友だちがやっているからいいだろうという、軽い認識だと思いがちですが、本当にその行為が大丈夫なのかを確認もせず不用意に行い、問題になってから、後悔する場面が多くなってきていると思います。全ての行為に見張りを付けて生活させる訳にはいきません。とすれば、お子さんが危ない行為に手を出すか出さないかは、お子さんの危険を察知するアンテナ次第であり、そのアンテナはご家庭で作られるものだと思います。「自分の家ではこれは禁止されているから、とすれば、この行為もやってはいけないよね」という判断力を身に付けておくことはとても重要です。夏休みに入る前に、お子さんと家庭のルールや命を守る約束について、再度確認をしてみてください。

【夏休みの本の紹介】



学校の保健室の前に、お勧めの本として紹介されていまして、夏休みの読書と夏休みの暮らしの確認を兼ねて、紹介します。ほんの悪ふざけのつもりでも、罪に問われる行動かもしれない、そんな日常を振り返りながら学べる法律エンターテインメントです！子どものちょっとした行動が、じつは法を犯しているかもしれません。冒険心で、あるいはいたずら心でやってしまいそうな行動から、明らかなNG行動まで、言われないと気づけない違法行為の数々を紹介しています。法律を身近に感じられる楽しい一冊となっています。大人にもたのしく学びのある本です。